

「NHK海外たすけあい」の特徴

特徴
1

今年で40回目を迎える
歴史と信頼のある募金キャンペーン

国際赤十字創設120周年、NHKテレビ放送開始30周年という記念すべき年であった昭和58年(1983年)にはじまり、現在まで、長きに渡って続いている歴史のある募金キャンペーンです。

特徴
2

必要な人に、必要な支援を
対象を絞らず 幅広く行き届く支援

女性や子どもはもちろん、より幅広い人びとに支援を届けるとともに、紛争や自然災害など、様々な危機を対象に支援を行っています。キャンペーン開始から令和3年(2021年)までに世界164の国と地域に支援を届けました。

様々な人びとを支援



様々な危機に対して支援



紛争

自然災害

病気

食料危機

特徴
3

ご寄付が
実際の支援に充てられる割合は **94%**

いただいたご寄付の94%を実際の海外救援活動に充てており、緊急救援から復興支援、開発協力に至るまでご寄付を有効活用しています。

実際の支援に
充てられる
寄付の割合

94%

キャンペーン
周知・報告等の費用

寄付するあなたも赤十字です 日本赤十字社へのご寄付の方法

郵便局・各金融機関

全国の郵便局、その他取扱いのある金融機関で寄付できます。



インターネット

クレジットカードやPay-easyで寄付できます。

日赤 海外たすけあい

<https://www.jrc.or.jp/lp/kaigai/>



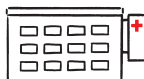
特設サイトへ



窓口

日本赤十字社の各都道府県支部、赤十字病院、献血ルーム、NHK各放送局などから寄付できます。

※新型コロナウイルスの感染状況により、各窓口による受付を縮小・中止する場合があります。



その他

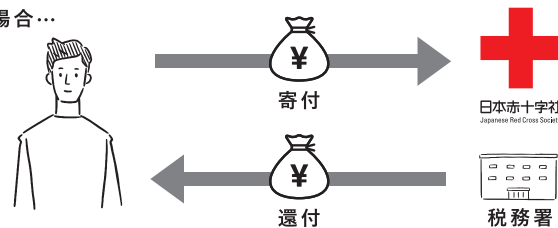
Yahoo!ネット募金やAmazonサイト、ローソンマルチメディア端末「Loppi」、ファミリーマートの「マルチコピー機募金受付サービス」、SoftBank「つながる募金」から寄付できます。相続による寄付も受け付けています。



税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や、企業の法人税の優遇措置を受けられます。

個人の場合…



所得控除の計算式

A:年間所得総額 - B:(寄付金額※ - 2,000円) = C:所得税課税対象額

※ただし、寄付金額は年間所得総額の40%が上限となります。



©Annalisa Ausilio/Italian Red Cross

日本赤十字社 × NHK 海外たすけあいのご案内



©Amanuel Sileshi/IFRC

救うを託されている。

NHK 海外たすけあい 12.1(Thu)~25(Sun)

日赤 海外たすけあい



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

「NHK海外たすけあい」に

関心をお寄せいただき、

ありがとうございます。

この活動は、日本赤十字社とNHKが

毎年12月に実施している

募金キャンペーンです。

気候変動や長引くコロナ禍、

ウクライナ人道危機などの影響により、

脆弱な環境下で暮らす人びとの

生活は厳しさを増しています。

私たちは、これからも、世界各地の

人道危機から誰も取り残さないよう、

地域に根差した支援を届け続けます。



©Meer Abdullah Rasikh/IFRC

誰も取り残さない。 紛争からも飢餓からも。

ヨーロッパの紛争や、
新型コロナウイルスのまん延の陰で、
アフリカの食料危機が深刻化していることは、
あまり知られていません。
注目される人道危機があるその一方で、
目が届かない場所、手が届かない場所が
生まれているのです。
関心の差が、支援の差になってはならない。
全ての苦しんでいる人びとを救うため。
あなたのご支援をお願いいたします。



赤十字の支援活動



〈CASE 1〉 紛争に伴う難民・避難民などへの対応

2022年2月以降、ウクライナ各地で激化している戦闘により、市民の死傷者が多数報告され、インフラにも甚大な被害が出ています。紛争の被害を恐れ、多くの人びとが周辺国に避難しています。また、中東地域やバングラデシュでは、人道危機が長期化し、多くの難民・避難民が厳しい環境下での生活を続けています。赤十字は、医療支援、救援物資の配布、こころのケア、給水支援、生計支援など現地の人びとに寄り添った支援を継続しています。



〈CASE 2〉 頻発、激甚化する 災害への対応

世界各地で気候変動の影響と見られる災害が頻発しています。アフリカ地域では大規模な干ばつに見舞われており、深刻な貧困・食料危機を引き起こしています。赤十字は食料支援、現金・物資給付による総合的な生計支援、医療サービスの提供や給水・衛生支援、こころのケアなど様々な支援を実施しています。



〈CASE 3〉 人びとのレジリエンスを 高めるために

赤十字では、平時から人びとが予測不能な災害などに備え、自ら対応し、立ち上がる力、すなわち「レジリエンス」を高めるための防災教育や救急法の普及を行っています。地域の生活習慣や文化をよく理解した上で、村々を回っての講習会やラジオ放送などの取り組みを通じ、病気やけがの「予防」にも取り組んでいます。

世界から届いた「ありがとう」の声



ウクライナ カリーナさん

「3歳の息子と足を骨折した母を連れて避難しました。食べ物も服も何もなく、孤独で恐ろしかったですが、赤十字の方が家族のように迎え入れてくれました。息子は赤十字ボランティアのサーシャさんと遊ぶのが大好きです。私たちを支援してくれるすべての人にありがとうと伝えたいです。」



バングラデシュ ロケヤ・アクターさん

「私には幼い子どもが2人います。2歳と1歳の男の子です。赤十字の診療所に初めて来たのは1週間前です。近所に住む親戚の女性が『いい診療所だよ、私の子どもが病気の時も親切に診てくれた』と勧めてくれたので来ました。ここでは安心して助産師さんに相談できます。」



マラウイ ウィルソンさんとエズイリナさん

「4年前に息子夫婦をHIV/AIDSで失い、4人の孫を育てることになりました。孫たちは皆、小学校に通っておりお金がかかる時期ですが、赤十字からもらったヤギのおかげで、そこから得られる収入で孫たちの教育費を出せるようになりました。」

あなたのご寄付でできること

2,000円 ▶ 安全な水 2ℓ×40本



不衛生な環境下で暮らす人びとに飲料水、生活や医療で使用する水を届けます。

5,000円 ▶ 給食 30人分



おなかを満たせない子どもたちへ支援を行います。

10,000円 ▶ 小児用医薬品 500人分



下痢や感染症で命の危機に瀕している子どもに医薬品を届けます。